

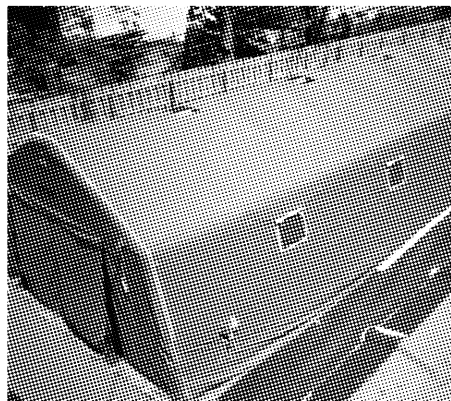
# 仮設住宅向け最適

米社製緊急  
災害用テント 原田物産が来月発売

原田物産（東京都江東区、林立志社長、03・6666・3723）は、米FSI（オハイオ州）製の「緊急災害用テントⅡ写真」を8月にも国内発売する。軍の指揮本部や野戦病院、仮設住宅など、厳しい環境での

使用にも適しているため、米軍や米国の警察・消防関係で納入実績が多くなる。日本でも東日本大震災以降、需要が高まっていることなどから、主に地方自治体や警察・消防関係向けに売り込む。

価格はオープンだが、床面積33・2平方メートルの標準タイプで168万円を想定。ベッドや照明、エアコン、シャワー設備など付属品を含め初年度1億円の売り上げを目指す。キャンピー（天蓋）は



紫外線（UV）加工や耐薬品性、難燃加工を施し、品質を重視。柱がエア注入式であるため1

5分程度と短時間で設置できる。

標準タイプのほか、除染シャワータイプ、隔離タイプなど用途に応じて提供していく。